

- ◆企画名 スポーツ大会 in 関大
日 程 2019年7月13日(土)
場 所 第4学舎3号館 屋内グラウンド
参加者数 17名(ピア・サポーター2名、研修生3名、一般学生7名、留学生5名)
目 的

春から関西大学に入学し、新しい環境に慣れ始めてきた留学生と運動という共通の遊びを通じてさらに交流を深める。また、日本人学生も留学生と交流する機会を得ることで、さらなる国際交流の発展を形作る。

内 容

- 14:40 全体ミーティング
15:10 参加者中央体育館前集合
15:20 アクティビティ開始
16:40 参加者解散、片付け
17:40 凜風館ピアエリアでスタッフはフィードバック



効 果

留学生には、ドッチビー、気配切り、ドッチボールといった日本の遊びを知ってもらうとともに、アクティビティを通じてチームごとの仲間意識を強めることできた。また、一般学生も留学生と交流することで、親しんだ遊びでも違う見方を得る機会になった。

改善点

- ・計画時にアイスブレイクの内容を考えていなかったため、当日急遽準備することになった。
→次回イベント以降は、必ず事前にアイスブレイクについて企画メンバーで話し合う。
- ・ドッチビーや気配切りのルール説明がしっかりできておらず、参加者がルールを理解できずに混乱していた。
→参加者がルールを全く知らないという前提で準備し、スタッフ内でもルールの共有を徹底する。また、ルール説明をしているときの参加者の様子を見て、必要に応じて詳しい説明を加える。
- ・ゲームの内容についてチームごとにスタッフが説明するのか、全体で集合して説明するのか曖昧なまま開始してしまった。
→スタッフ同士で進行についての情報共有を徹底しておく。
- ・事業計画書等の書類の提出が遅くなってしまった。
→企画メンバーだけで書類の作成が難しい場合、他のスタッフにお願いして手伝ってもらう。

感 想

当初の企画段階の予定では時間が大きく余ることが懸念されたが、その後の追加プランなどの対応によって、当日は時間通りにアクティビティを進めることができた。イベントを担当することが初めてで、指示の難しさなどを痛感したが、周りのサポートによって無事にイベントを終えることができよかった。